

令和7年度 食生活に関する調査結果（中間報告）

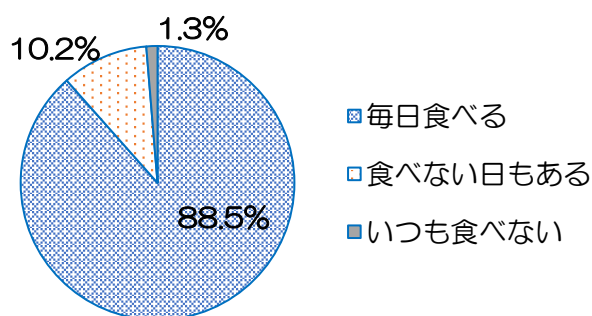
令和7年6月に、市内小・中・義務教育学校で実施した「食生活に関する調査」の結果を報告します。

対象	小学5年生（児童）	小学5年生（保護者）	中学2年生（生徒）	中学2年生（保護者）
回答者数	1,047 名	609 名	1,018 名	695 名
回答率	81.7%	53.0%	85.5%	59.0%

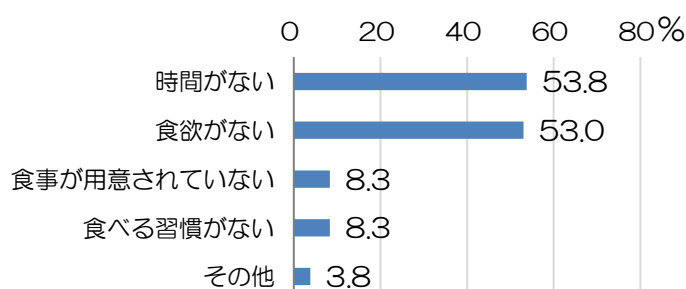
※義務教育校前期課程第5学年および第8学年児童生徒・保護者を含む。

1 児童・生徒の朝食摂取状況

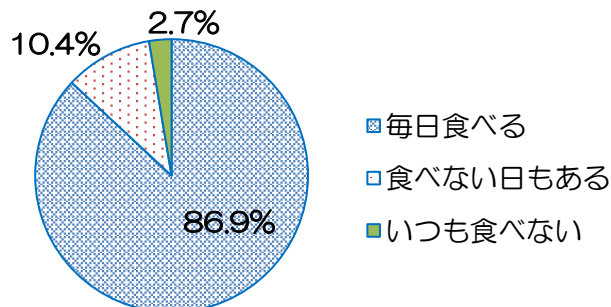
学校がある日の朝食状況（児童）



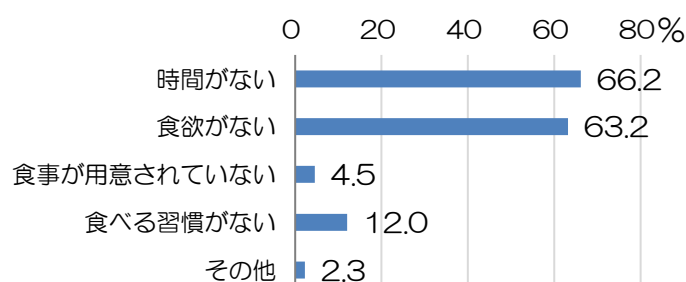
学校がある日に朝食を食べない理由（児童）



学校がある日の朝食状況（生徒）



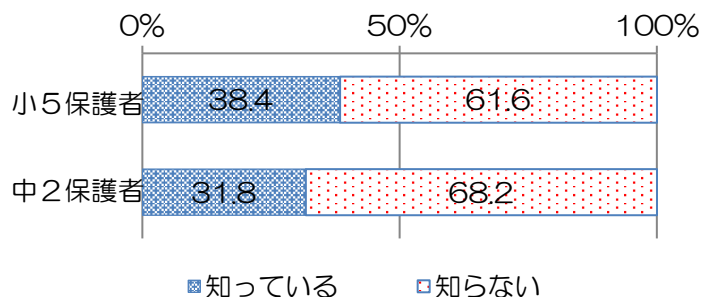
学校がある日に朝食を食べない理由（生徒）



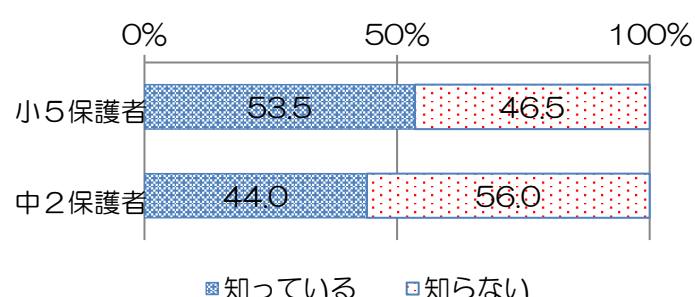
令和6年度に比べると、毎日朝食を食べている小学生は減少し、毎日朝食を食べている中学生の割合はほとんど変わりませんでした。茨城県・ひたちなか市ともに学校がある日の朝食摂取率は100%を目指しています。朝食は1日の始まりの大切な食事です。学校では朝食を食べることの大切さを伝えていきますので、朝食を食べる習慣が身に付けられるようご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

2 減塩の取り組みの認知度

県の「いばらき美味（おい）しおDay」を知っていますか

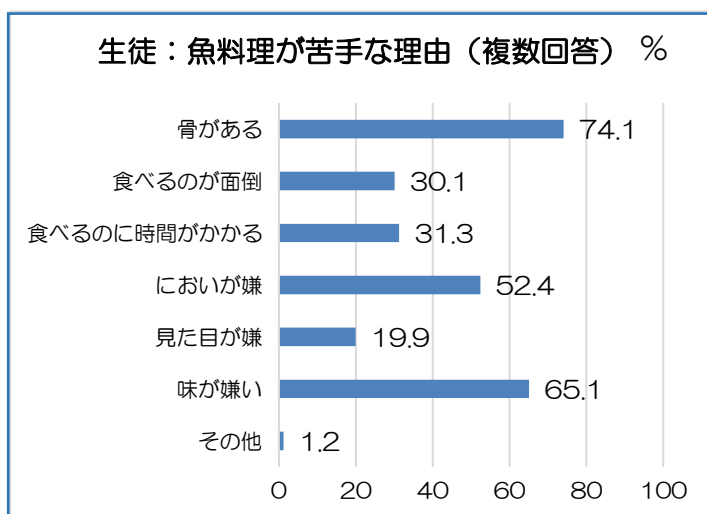
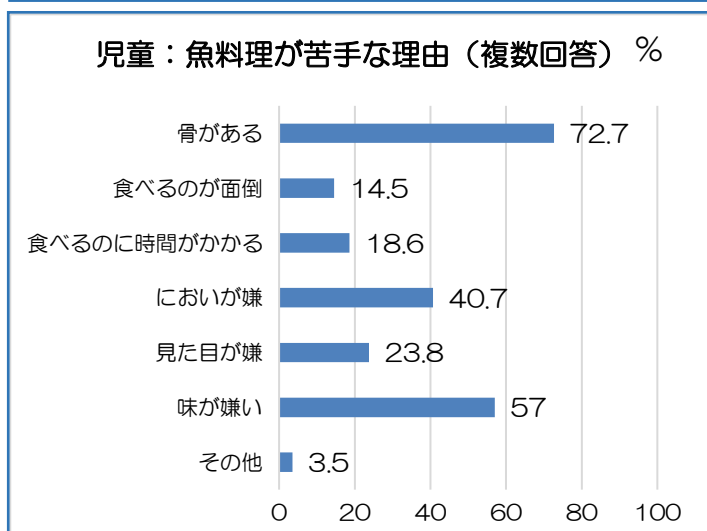
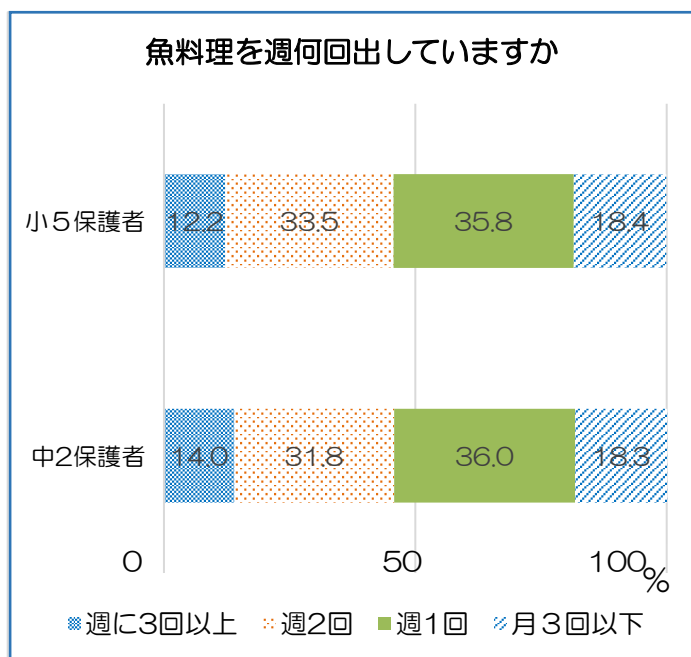
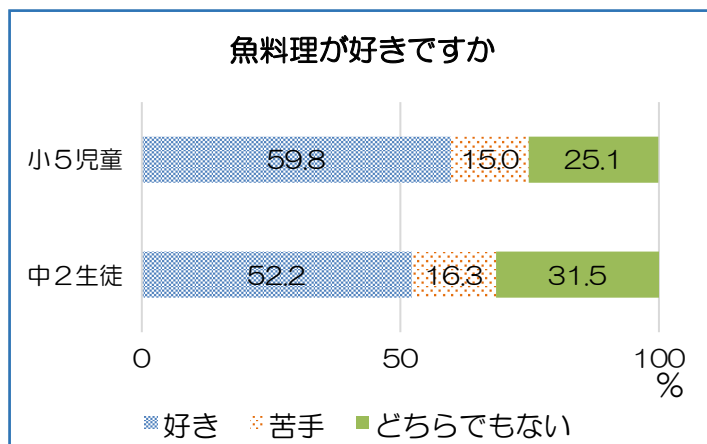
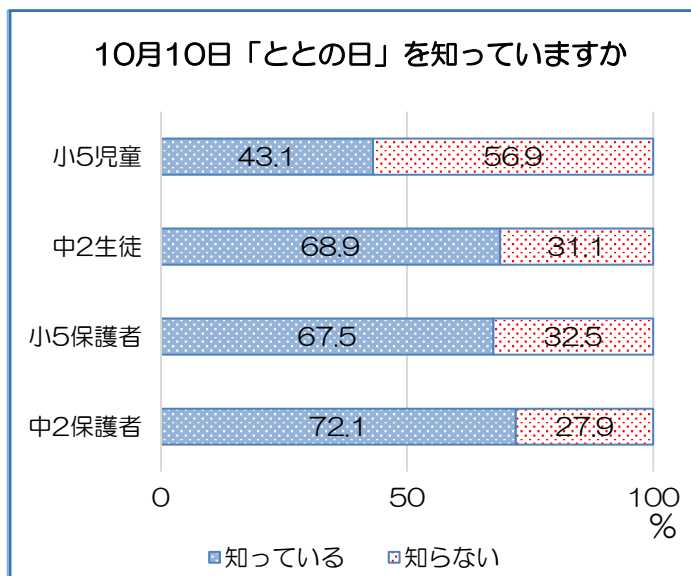


市の「いばらき美味（おい）しお献立」を知っていますか



茨城県では健康長寿日本一を目指すため、県民の食塩摂取量を減らす取組の一環として、毎月 20 日を減塩の日「いばらき美味しお Day」として制定しています。茨城県民の成人 1 日あたりの食塩摂取量は国が定める目標量を大きく超えています。ひたちなか市の学校給食でも、減塩の献立作成に取り組んでいます。

3 魚食の取り組みの認知度



ひたちなか市では毎月 10 日を魚食普及推進日とし、食文化の継承と市民の健康づくりに努めています。学校給食でも魚料理の提供を心がけていますが、苦手とする児童生徒もあり、調理や味付けの工夫から魚に慣れ親しんでもらえるように努めています。

◎ひたちなか市学校給食会では、各学校の児童生徒及び保護者の食生活に関する実態を把握し、今後の食に関する指導の充実を図るため、毎年6月と11月に、市内の小学5年生及び中学2年生を対象に実態調査を実施しています。11月の調査につきましても、ご協力よろしくお願いいたします。